

RPPCメール

リサイクルポート推進協議会

第595号（平成27年9月16日発行）

【今週号の主な内容】

■ 《今週の報道発表》

今週の報道発表はございません

■ 《RPPC事務局からのお知らせ》

1. 第1回 汚染土壌事業化PT 開催のお知らせ
2. NPO法人庄内リサイクル産業情報センターよりメルマガ発行のお知らせ

■ 《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 防波堤の耐津波設計ガイドラインを部分改訂へ
2. 西日本国際コンテナ戦略港湾政策推進協議会」を設立
3. 平成27年度全国港湾空港事務所長会議を開催

★なお、来週のメルマガはシルバーウィークのためお休みします★

=====

《RPPC事務局からのお知らせ》

1. 第1回 汚染土壌事業化PT 開催のお知らせ

第1回汚染土壌事業化PTを下記日程で開催いたしますのでご確認ください。

記

日時：平成27年9月30日（水） 10：30～12：00

場所：（一財）みなと総合研究財団 3階会議室

2. NPO法人庄内リサイクル産業情報センターよりメルマガ発行のお知らせ

当協議会会員のNPO法人庄内リサイクル産業情報センターより、日本海側のリサイクルポート・酒田港、能代港、堺港を紹介をするメールマガジン・サンプル3号が発行されましたのでご紹介します。詳細は添付のサンプル3号をご覧ください。

毎月15日に配信されており、事務局メルマガにも定期的に掲載しております。

【事務局】

=====

《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 防波堤の耐津波設計ガイドラインを部分改訂へ

国土交通省港湾局は9月4日、防波堤の耐津波設計ガイドラインの部分改訂に向け、「防波堤の耐津波設計ガイドライン・フォローアップ・ワーキンググループ（委員長・清宮理早稲田大学教授）の初会合を開いた。粘り強い防波堤に資する最新の技術等新たな知見をガイドラインに盛り込む。10月にも予定する次回会合で改訂案をまとめる方針。

【港湾空港タイムス】

2. 西日本国際コンテナ戦略港湾政策推進協議会」を設立

国土交通省港湾局は9月3日、阪神港及び西日本地域の港湾管理者等で構成する

「西日本国際コンテナ戦略港湾政策推進協議会」の設立総会を開いた。

阪神港と国際海上コンテナを取り扱う西日本各港とが、集貨に向けて連携強化する。

【港湾空港タイムス】

3. 平成27年度全国港湾空港事務所長会議を開催

国土交通省港湾局は9月7日、平成27年度全国港湾空港事務所長会議を開催した。

この中で西村国土交通副大臣は、「港湾・空港は経済波及効果や雇用の創出に寄与するなど、地域を支える重要なインフラ。地方創生に向け最前線に立つ皆さんが各地域の自治体、企業、住民のニーズをくみ取り、国交省として何が出来るかを常に考えながら取り組んで欲しい」、と訓示した。

【港湾空港タイムス】

#####

発行者：RPPC 広報部会

部会長：徳田 英司 新日鐵住金（株）

部会員：山崎 和宣 五洋建設（株）

木村 竜也 東京都

梅木 重光 （株）酒田港リサイクル産業センター

紫牟田 和隆 光和精鉱（株）

新谷 聡 りんかい日産建設（株）

リサイクルポート推進協議会事務局 一般財団法人みなと総合研究財団（内）

担当：本野、井手、榎並 URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

※会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

※メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

※メルマガ配信先に変更がある場合は事務局までご連絡下さい。

#####



みなさん、こんにちはメルマガ編集担当の齋藤です。今月号より日本海側にあるリサイクルポート「能代港」「境港」がメルマガに参加します。各港の最新情報をどんどん皆さんにお伝えしていきたいと思います。活気に満ちた日本海側のリサイクルポートの動きを是非最後までご覧ください。

それでは PORTTOWN MAGAZINE スタートです。

~~~~~ I N D E X ~~~~~

- ① 能代港ニュース
  - ・能代港に新しいリサイクル施設誕生。
  
- ② 酒田港ニュース
  - ・酒田港コンテナ貨物就航 20 周年記念式典開催。
  - ・平成 27 年度酒田港ポートセミナー開催。
  - ・豪華客船「飛鳥Ⅱ」、酒田港に再び寄港。
  - ・第 2 回 BJW 大日本プロレス酒田港インターコンチネンタルタッグ選手権開催決定。
  
- ③ 境港ニュース
  - ・能代港湾振興会様が境港視察研修
  - ・境港流通プラットホーム協議会発足
  - ・「クルーズ・シンポジウム in 境港」開催
  
- ④ 編集後記

## ■ 能代港ニュース

### ○ 能代港に新しいリサイクル施設誕生。

昨秋から能代港北側工業用地に建設が進められていた能代FRC有限責任事業組合のFRC工場がこのほど工事完了し、この8月からは試運転が始まっています。

当工場は酒田FRC有限責任事業組合による特許技術を採用し、能代火力発電所から発生する石炭灰を原料として高密度・高強度コンクリート製品を製造するもので、再生骨材としての利用に期待が持たれています。

組合員で廃棄物処理業を担う大森建設株式会社の石井取締役によれば、「現在は製造ラインの最終調整が施されており、近く竣工の運びとなる見通し」とのことで、完成すれば能代港に新たなリサイクル関連施設が誕生します。

## ■ 酒田港ニュース

### ○ 酒田港コンテナ貨物就航 20 周年記念式典開催

8月24日酒田港の国際定期コンテナ航路が開設20周年を迎え、関係者約200人が出席し、同港の発展が県全体の活性化につながるとして、さらなる振興策に一丸となって取り組むことを確認しました。港湾管理者の吉村美栄子知事が「増便で利便性が高まり、さらに貨物が増える好循環が生じている。関係者で一層の連携を強めながら振興策に取り組むので、さらなる利用拡大に協力を」とあいさつされ、同市の安藤智広商工観光部長も、県と一緒に取り組む姿勢をアピールしました。国土交通省東北地方整備局の津田修一副局長らの来賓あいさつに続き、同航路開設時からコンテナ船を就航させている高麗海運（ソウル市）や花王などの大口利用企業に対し、吉村知事から感謝状が贈られました。

### ○ 平成 27 年度酒田港ポートセミナー開催

8月24日、酒田市にて環日本海の重要港湾「酒田港」の更なる利活用を図るため、山形県内外の企業関係者を対象とした「酒田港ポートセミナー」が開催されました。

今年度は酒田港国際定期コンテナ航路開設以来20年間運航維持してきた高麗海運株式会社の紹介と海運業者の視点からみた酒田港の優位性・可能性を伝える講演、現在酒田港に関わる様々な分野の立場から意見交換するパネルディスカッション。その他2社の海運業者によるプレゼンテーションが行われました。

○ **豪華客船「飛鳥Ⅱ」酒田港に再び寄港**

8月27日（木）29日（土）両日、豪華客船「飛鳥Ⅱ」が酒田港に寄港しました。

たくさんのお客様が「山居倉庫」等の酒田観光を楽しまれたようです。埠頭には豪華客船の優雅な姿を一目見ようと市民の方も大勢見学に訪れました。27日に行われた出港式典では今回酒田港では初めてとなる夜間出港に合わせて打ち上げ花火が行われ、船出と花火を見ようと大勢の方が見送りに訪れました。

※ 画像、動画は酒田市役所 Facebook ページにて公開しております。

○ **第2回 BJW 大日本プロレス酒田港インターコンチネンタルタッグ選手権開催決定。**

昨年9月に酒田港で行われた「BJW 大日本プロレス酒田港インターコンチネンタルタッグトーナメント選手権大会」。今年は10月18日（日）に開催決定となりました。

ポスターも出来上がり、着々と準備がすすんでおります。

※ 今回のポスターは BJW 大日本プロレス酒田港インターコンチネンタルタッグトーナメント選手大会 Facebook ページにて公開中です！

■ **境港 ニ ュ ー ス** .....

○ **能代港湾振興会様が境港を視察研修**

8月27日に秋田県から能代港湾振興会様が境港のリサイクルポート関係の視察研修にいらっしゃいました。

境港管理組合で概要説明の後、港湾施設の現場視察、リサイクル関連企業を視察していただき、視察後の情報交換会でも大いに盛り上がり、より一層の交流を深めていく素晴らしい機会となりました。

十分なおもてなしとまではいきませんが、境港ではどしどし御視察を受け付けておりますので、遠慮なくお問い合わせください。

（当方がお願いした際にはよろしくお願いたします。）

○ **境港流通プラットホーム協議会が発足**

7月11日、境港市の夢みなとタワーで、鳥取・島根両県の産学官連携による「境港流通プラットホーム協議会」が発足しました。

同協議会は北東アジアゲートウェイ「境港」の強みを引き出し、物流改善と商流拡大の促進を目的として、中海・宍道湖・大山圏域の大学、経済団体、物流企業、金融機関、行政などで構成されています。

同協議会については、次の境港管理組合ホームページをご参照ください。

<http://sakai-port.com/publics/index/117/>

